

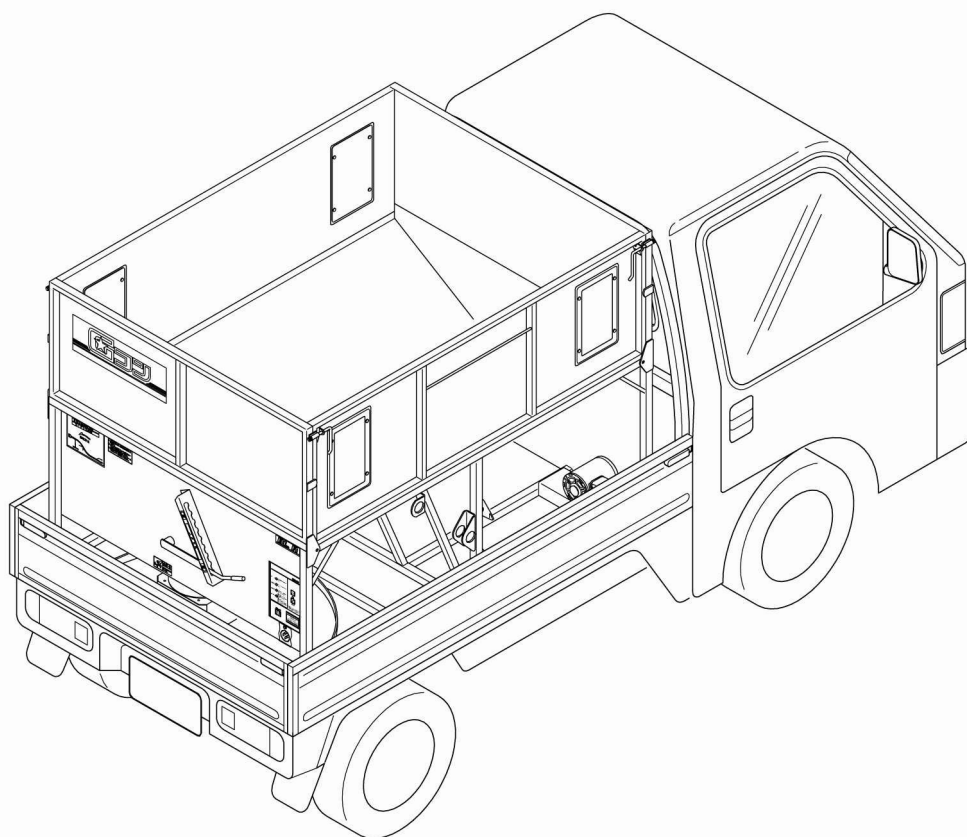


型式

GK09 — 2・3・4・5・7 — BG/BGR
GK11 — 2・3・4・5・6・8 — BL/BLR

ご使用前に必ずお読みください

取扱説明書





はじめに

このたびは、《Gコンシリーズ》をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。


このGコンの性能を発揮させ、安全で快適な農作業をしていただくためにも、ご使用のまえに「取扱説明書」をよくお読みいただき、機械の使い方を理解してから正しい取扱いをしてくださるようお願いいたします。

いつまでもすぐれた性能を発揮できるよう本書をいかして、機械を大切にお使いください。



安全のポイント

安全な作業をしていただくためには、まず機械の使い方を理解し、正しい取扱いをすることが基本となります。

この取扱説明書のなかで守っていただきたい安全作業のポイントをそのつど  マークで表示し説明しています。

- ◆ トラックに搭載したGコンは必ずロープで固定してください。
- ◆ 道路交通法に従って積載量を厳守してください。
- ◆ 路肩の柔らかい所や草の生い茂っている所は転落の恐れがありますので走行しないでください。
- ◆ 電源プラグを差し込み、スイッチを【ON】にする時は周囲に人がいないか確認してください。
- ◆ Gコンの点検整備、分解の際は必ずスイッチを【OFF】にし、電源プラグを抜いてください。
- ◆ 作業中バネコン、スパイラー、ホッパ、カバー内などの回転部には絶対に手などを入れないでください。

取扱いのポイント

- 作業後の手入れは十分に行ってください。機械の寿命が著しく異なるばかりでなく、作業にすばやく取り掛かることができ、能率を上げることとなります。

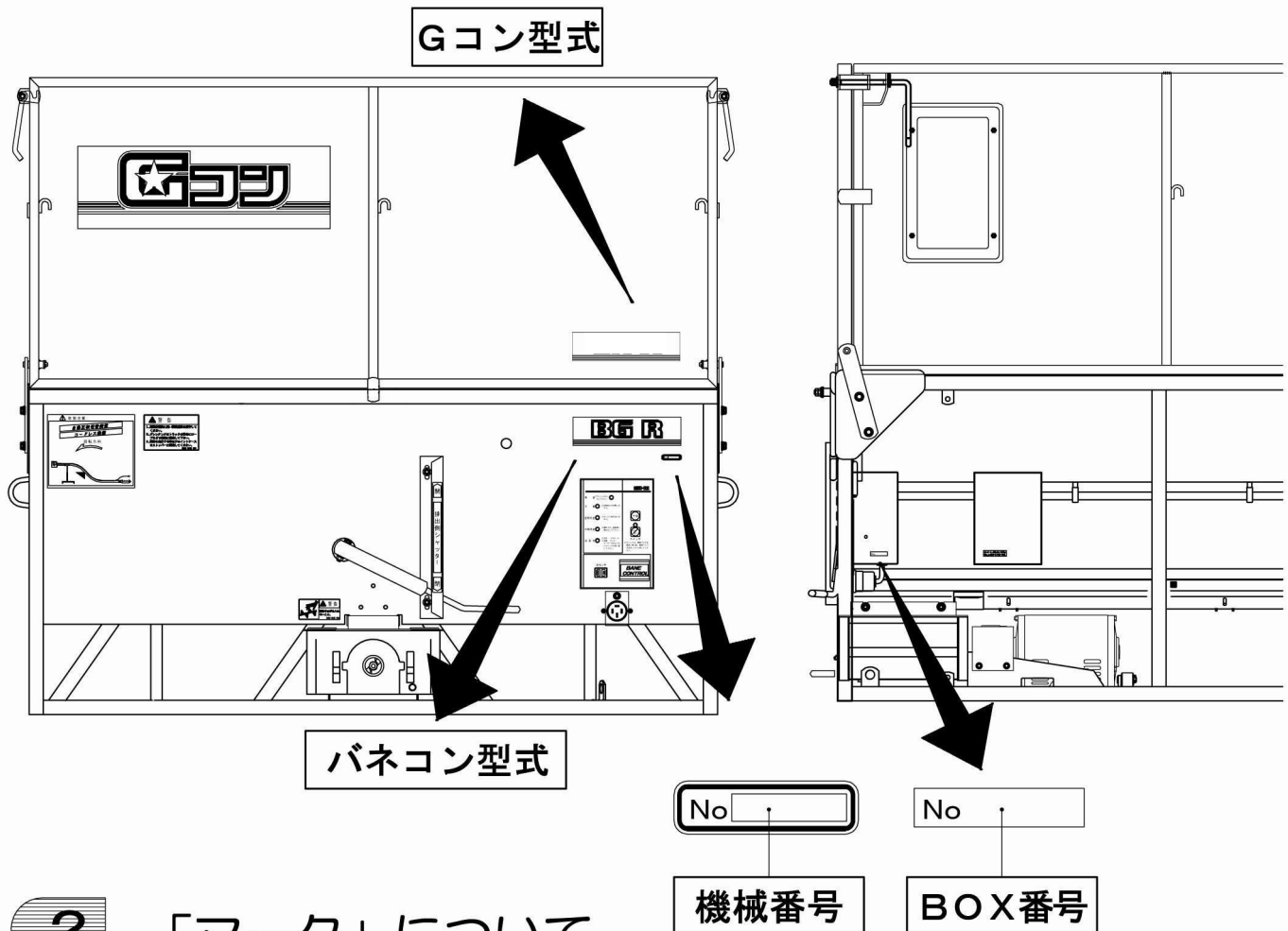
も く じ

ご使用まえに	1
1 「機械番号（製造番号）」について	1
2 「マーク」について	1
▲ ラベルについて	2
主な名称	3
取付部品	4
運転まえの準備	7
1 Gコンの組付	7
運転のしかた	9
1 回転方向の確認	9
2 Gコンの取扱い	9
3 過負荷でモーターが止まるとき	10
4 コントロールBOX	11
手入れのしかた	12
不調の発見と処置	13
1 電装品	13
2 バネコン	15
キャスターのご使用まえに	16
キャスターの取扱い	17
1 キャスターの組立	17
付 表	21
1 消耗部品	21
2 オプション品	21
3 仕様諸元	22

ご使用まえに

1 「機械番号（製造番号）」について

このGコンには「機械番号（製造番号）」が図示のところに表示してあります。サービスについてのお問い合わせや、部品などのご用命のときには「お買いあげ先」に「型式名」・「機械番号（製造番号）BOX番号」を必ずお知らせください。



2 「マーク」について

この取扱説明書では、そのつど守っていただきたいところに下記「マーク」を使用して説明しております。



安全のポイント

- ◆重要な安全事項についての説明をしています。守らないと人身事故の危険性がありますので、必ず読んでください。

取扱いのポイント

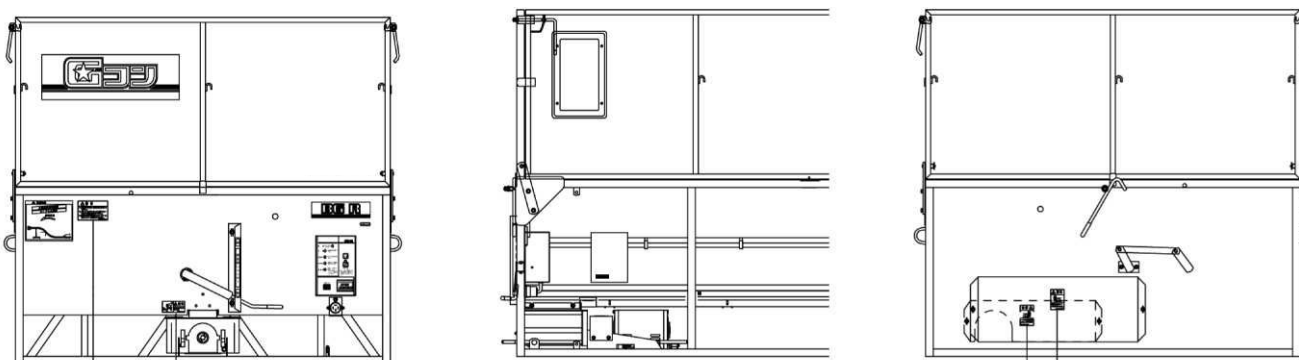
- 機械の性能を最大限に発揮するための説明をしています。守らないと本来の性能を発揮できません。また故障の原因になることがあります。

⚠ ラベルについて

安全な取扱いについて説明している「ラベル」を機械に貼付しています。

- ご使用前にラベルをすべて読んでください。
- 機械に貼ってあるラベルが破損したり、無くなったり、塗料がついたり、または読めなくなったら、新しいラベルに貼り替えてください。
- ラベルが付いている部品を交換するときは、新しいラベルも一緒に付けてください。
- ラベルは機械のお買いあげ先に注文してください。

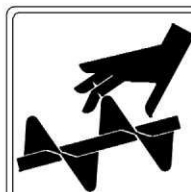
「ラベルの位置と内容」



⚠ 警告

1. 道路交通法に従い積載重量を厳守してください。
2. グレンタンクはトラックの荷台にロープなどで確実に固定して下さい。
3. 道路を走行する時はジョイントケースをストッパーに固定してください。

1019 9133 000



⚠ 警告

運転中は手を入れないこと。

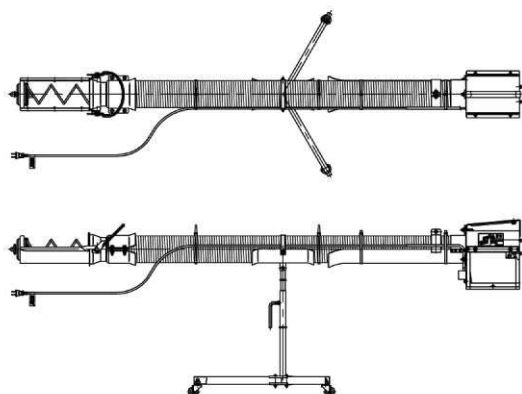
1019 9141 000

⚠ 警告



運転中はカバーをあけないでください

560 3310 101 1



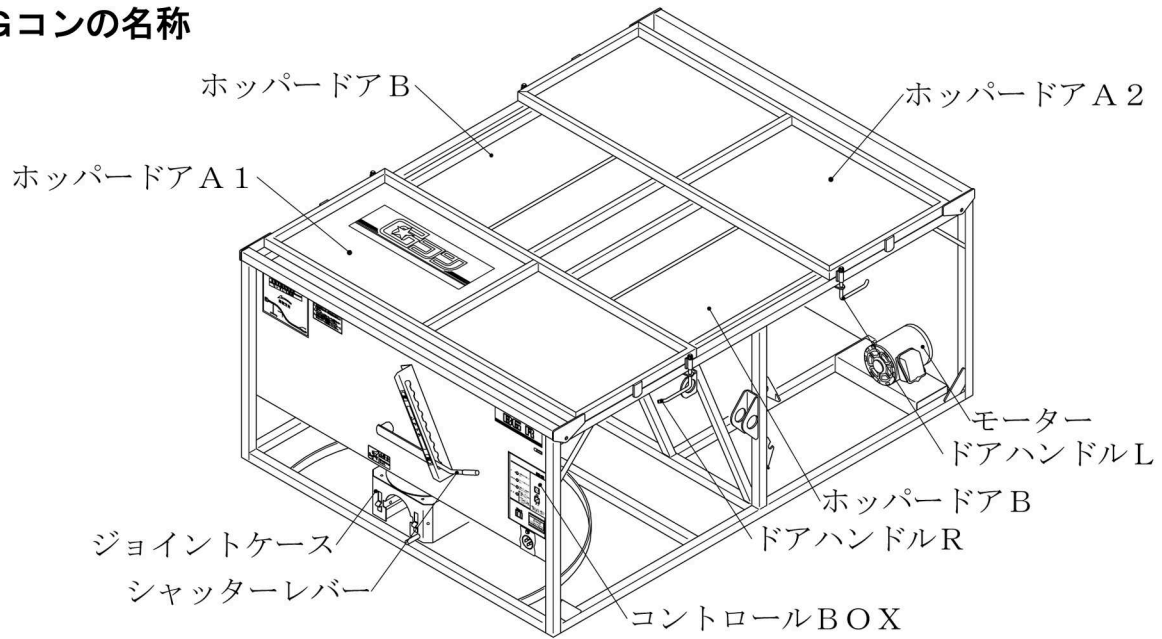
⚠ 警告

運転中は手を入れないこと。

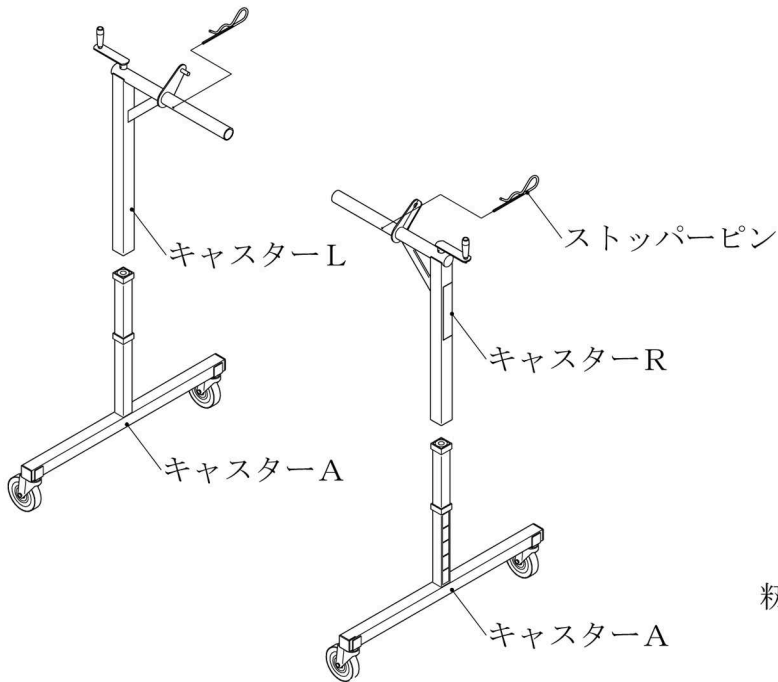
1019 9142 000

主な名称

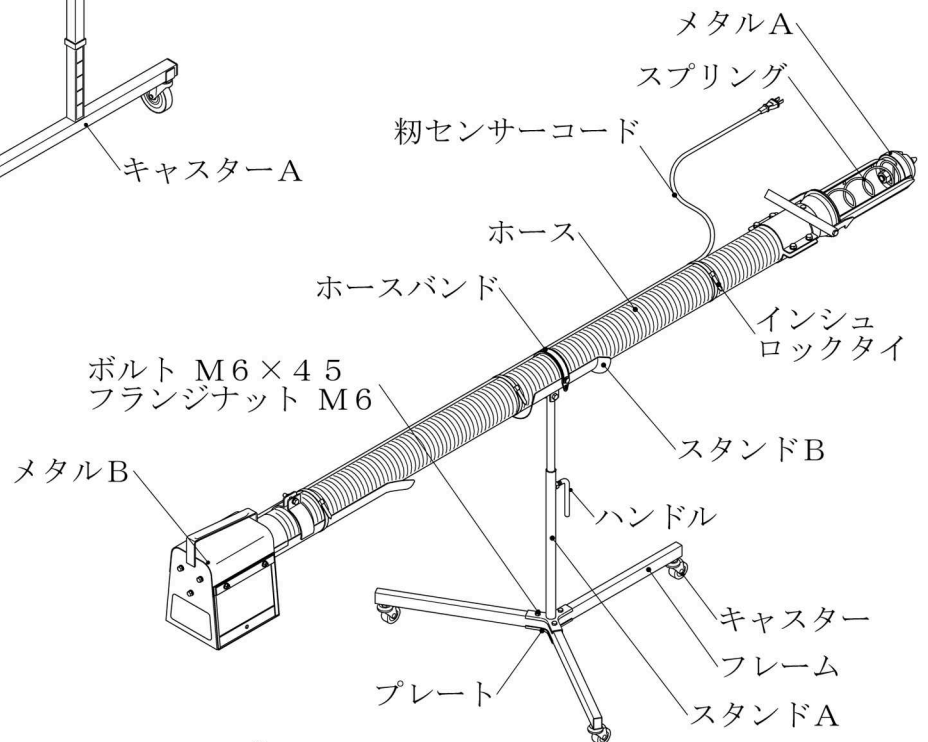
■ Gコンの名称



■ キャスターの名称

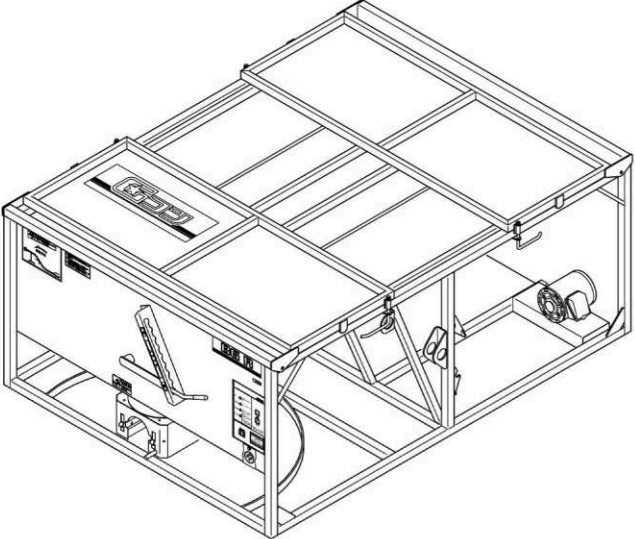
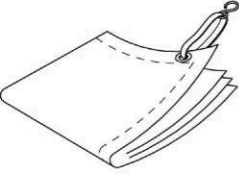



■ バネコンの名称

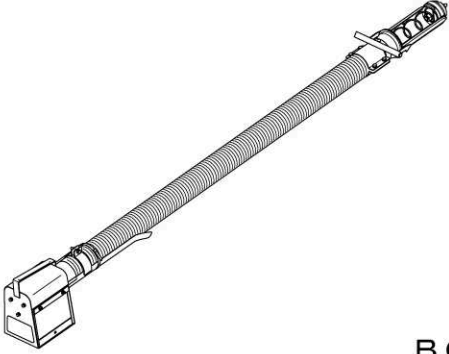
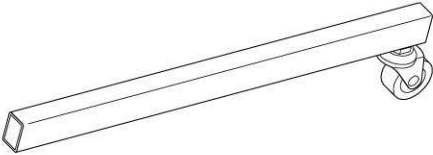
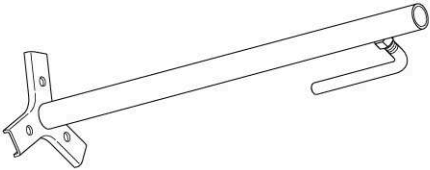




取付部品

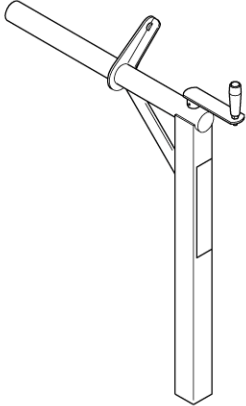
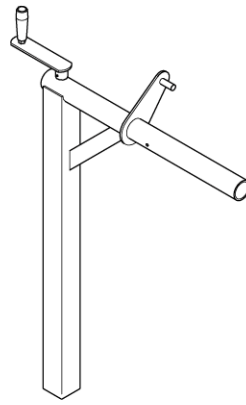
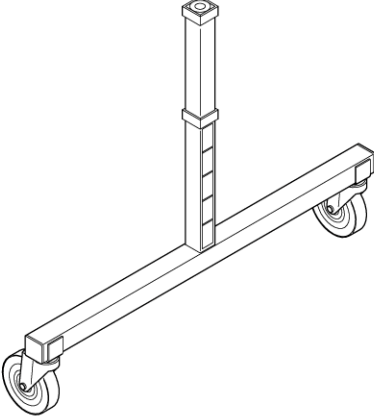

■ Gコン

No.	部品名称	個数	外観形状
1	本体	1	 <p>GK11-BG</p>
2	ホッパーシート	1	
3	電源コード	1	

■ バネコン

No	部品名称	個数	付属部品	外観形状
5	バネコン	1	インシュロックタイ …… 6個	 <p style="text-align: right;">BG型</p>
6	フレーム	3		
7	スタンドA	1		
8	プレート	1	ボルト M6×45…… 3個 フランジナット M6 …… 3個	
9	スタンドB	1	ホースバンド …… 1個	

■ キャスター

No	部品名称	個数	付属部品	外観形状
10	キャスターR	1		
11	キャスターL	1		
12	キャスターA	2		
13	ストッパーピン	2		

運転まえの準備

1 Gコンの組付

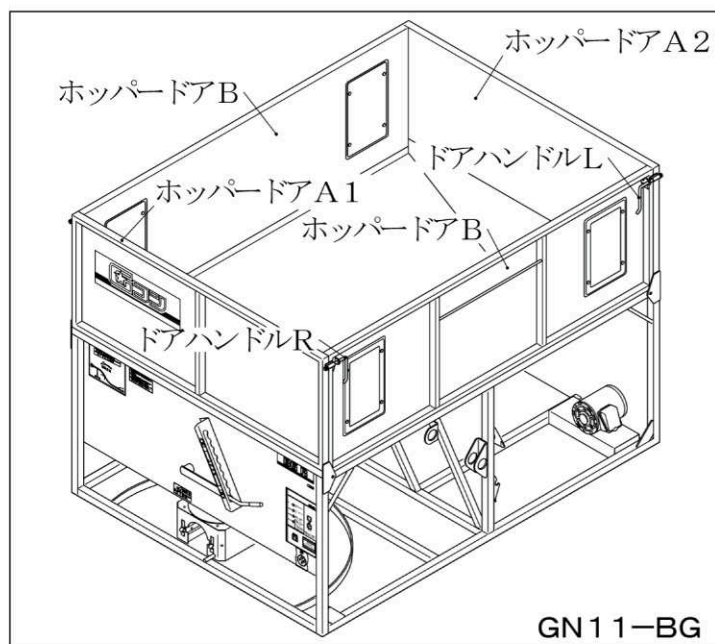
1 本体をトラックに搭載

本体をトラックの荷台に載せます。

2 ホッパードアの組付

最初にホッパードアA 1・2をロックするまで立てます。

次にホッパードアBを立てドアハンドルR・Lでロックします。



安全のポイント

- ◆ ホッパードア組付けなどでトラックの荷台で作業する場合は、転落に注意してください。
- ◆ ホッパードアを組付ける際は、ホッパードアが倒れない様にしてください。ホッパードアが倒れてケガをすることがあります。
- ◆ Gコンをトラックに載せて移動する際は、ロープなどで荷台のフックに固定してください。

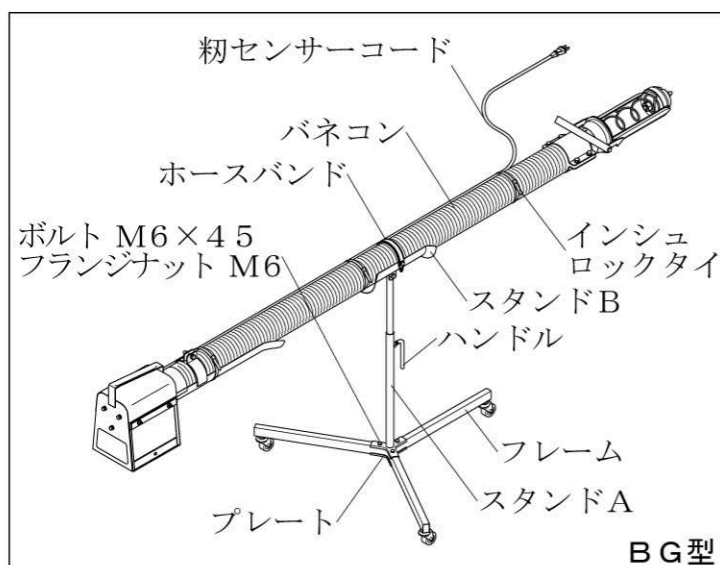
3 スタンドの組立

スタンドAを上、プレートを下、その間にフレームを入れます。
ボルトM6×45とフランジナットM6で組立てます。

ボルト M6×45 …… 3個
フランジナットM6 …… 3個

4 スタンドに取付

スタンドAの中にスタンドBを入れ、乾燥機ホップの高さに合わせてハンドルで固定します。バネコンをのせてホースバンドをセットします。

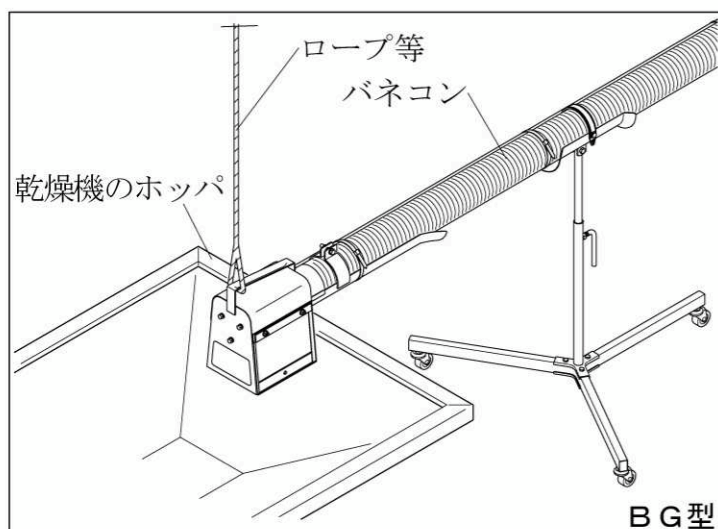


5 乾燥機にセット

乾燥機のホップの上にバネコンの排出口をロープ又はチェーン等で吊します。

6 インシュロックタイの取付

バネコンに粗センサーコードを1m位の間隔でインシュロックタイで固定します。



インシュロックタイ …… 6個



安全のポイント

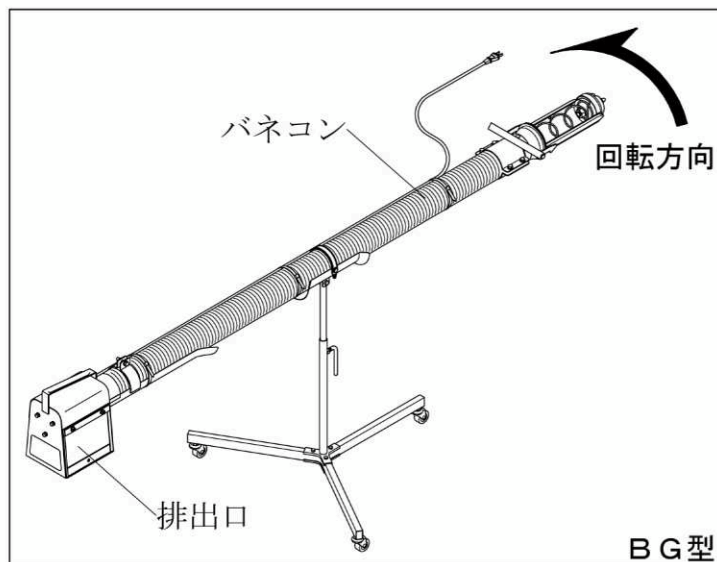
- ◆ 作業をする前にバネコンの回転方向を確認してください。
- ◆ コントロールBOXに粗センサーコードのプラグは確実に差し込んでください。

運転のしかた

1 回転方向の確認

1 確認のしかた

バネコンを差す前に確認するときは、ジョイントケース内のボスを見るか、バネコンを差し込んでからはバネコン排出口を見て回転方向を確認します。



2 Gコンの取扱い

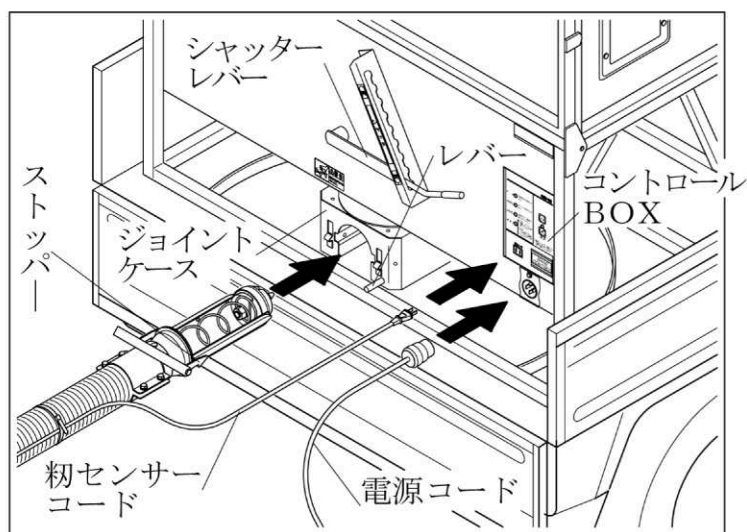
1 バネコンの取付

トラックで粉を運んで来たたら、バネコンの届く位置に停車し、バネコンをジョイントケースに差し込んでストッパーで固定します。

2 コントロールBOXの操作

コントロールBOXに電源コードとバネコンの粉センサーコードのプラグを差し込みます。主電源のコンセントに、電源コードのプラグを差し込みます。

コントロールBOXのスイッチを [ON] にしてモーターが回転してからシャッターレバーでシャッターを開いてください。



取扱いのポイント

- コントロールBOXへの電源と粉センサーコードのプラグは確実に差し込んで使用してください。

③ 残粒の処理

タンク内に粉が無くなると、空転防止センサーが作動してモーターが止まります。
まだタンク内やバネコン内に残粒がある時は、コントロールBOXの手動スイッチを押して粉を排出します。

④ ジョイントケースの操作

ジョイントケースはレバーを手前に引きながら差込部をバネコンの方向に回し合わせてからバネコンをセットします。

取扱いのポイント

- 出荷時ジョイントケースはレバーでストッパーに固定されています。
移動及び格納時はレバーをストッパーにセットしてください。

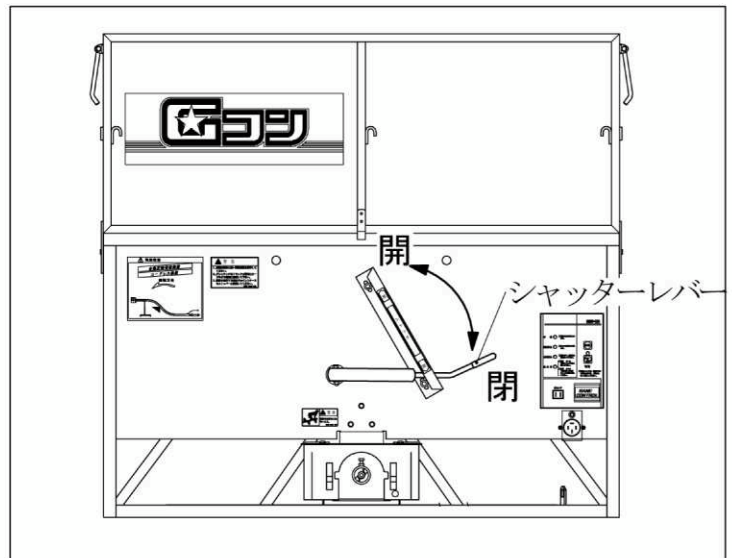
③ 過負荷でモーターが止まるとき

シャッターの調整

シャッターレバーで流れる量を調整してください。

取扱いのポイント

- 小麦などを排出の際に、多くの電流が流れモーターが過負荷で止まる時は、シャッターで粉の流れる量が少なくなる様に調整してください。



安全のポイント

- ◆ 電源プラグを差し込み、スイッチを〔ON〕にする時は周囲に人がいないか確認してからスイッチを〔ON〕にしてください。
- ◆ 運転中はバネコン、スパイラー、ホップ、カバー内などの回転部には絶対手などを入れないでください。
- ◆ 回転方向はジョイントケース内のボスかバネコン排出口のスプリングを見て確認してください。



安全のポイント

- ◆ 乾燥機のホッパに粉がたまると自動的にモーターが止まります。粉が乾燥機内に吸い込まれると、自動的にモーターが回り出します。
- ◆ モーターが止まっても故障ではありません。絶対に粉の出口へ手など入れないでください。

取扱いのポイント

- タンク内に粉が入っていないと空転防止センサーが働いてモーターは回りません。
- バネコンは半径2m以下に曲げないでください。極端に曲げますとスプリングがホースの内面に当たって、馬力をとるばかりでなく、ホースやスプリングの摩耗を早め、寿命がいちじるしく短くなります。

4 コントロールBOX

○手動ランプ
手動運転のとき点灯。
〔緑色〕

○空転防止ランプ
Gコンのタンク内に粉が無くなると点灯。
〔黄色〕

○自動停止ランプ
バネコンの出口に粉が満杯になると点灯。
〔黄色〕

○過負荷ランプ
モーターに異常な負荷や欠相などが発生した場合に点灯。〔赤色〕

○粉センサコンセント
粉センサコードを根本まで差込んで使用してください。

電 源 ○スイッチを入れて下さい。

手 動 ○空転防止は作動しません。

空 転 防 止 ○タンクに粉がありません。

自 動 停 止 ○満杯です。回転部に触れないで下さい。

過 負 荷 ○点灯 バネホース
○点滅 タンク
モーターが冷えてからスイッチを押し直して下さい。

手 動

ON
OFF

ス イ ッ チ

○電源ランプ
通電していると点灯。
〔緑色〕
※点灯しないときは電気がきてないか、コントロールBOXの故障です。

○手動ボタン
残粒があるときに押してください。

○運転ランプ
運転中に点灯。〔緑色〕

○運転ボタン
スイッチを押してからシャッターを開いてください。

(過負荷ランプが点灯したら原因を取り除きモーターが冷えてから押し直してください。)

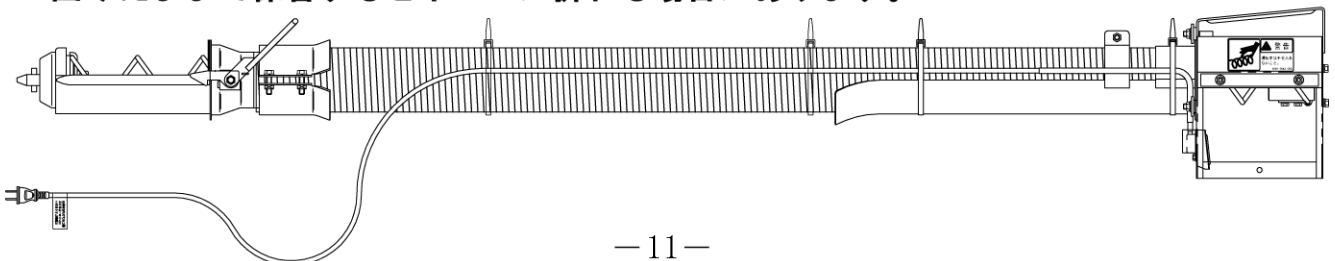
粉センサ

BANE CONTROL

○スイッチは、電源プラグを確実に挿入後、電源ランプが点灯してから押してください。

取扱いのポイント

- バネコンを保管するときは平らな場所で直線のままで保管します。曲げたままで保管するとホースが折れる場合があります。



手入れのしかた

- 作業が終わりましたら保守・点検・清掃を行ってください。
- 十分な手入れを行うことにより、機械の寿命がいちじるしく延びるばかりでなく、作業にすばやく取り掛かることができ、能率をあげることになります。



安全のポイント

- ◆Gコンの点検整備、分解の際は必ずスイッチを【OFF】にし、電源のプラグを抜き、モーターが停止してから行ってください。

1 注油箇所

タンク後部のベルトカバーを外して、テンション軸に注油します。
1日1回十分に注油してください。

取扱いのポイント

- 注油する時Vベルト(LA-49)の摩耗や亀裂がないか点検してください。

2 Gコンの掃除

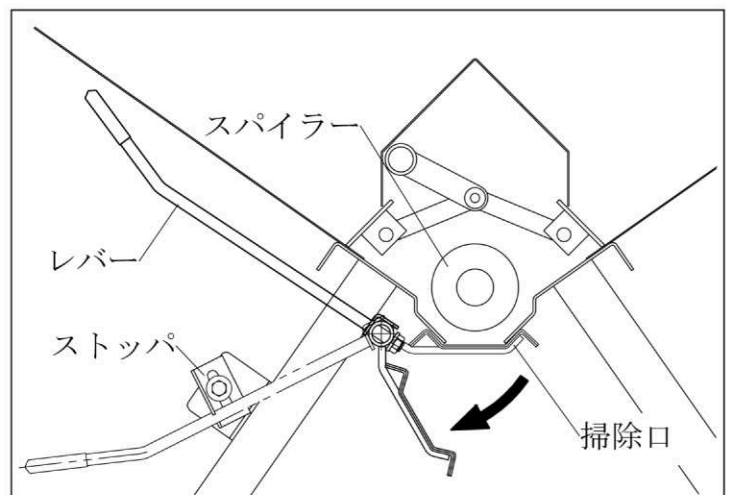
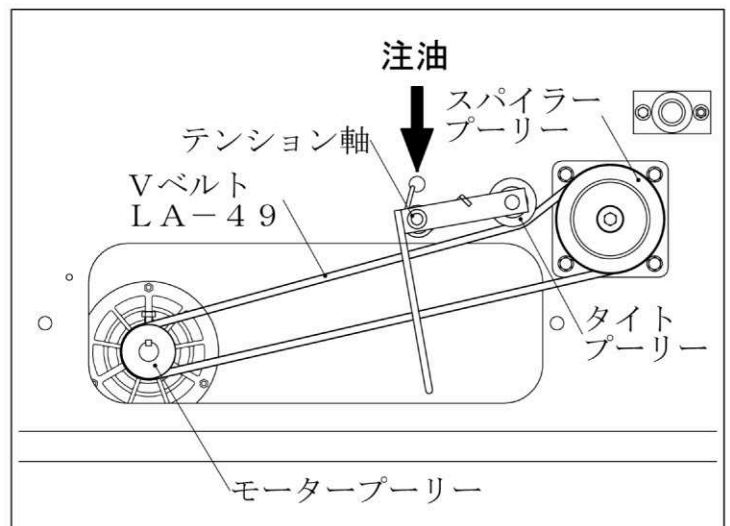
Gコン各部のゴミ・わらくずなどをきれいに取り除きます。
タンクのスパイラー下部のレバーをストップより外して掃除口を開いて掃除をします。

3 バネコンの掃除

バネコンを傾けて残っている粉やゴミを取り除きます。
きれいになりましたら、サビ防止のために植物油でスプリングを拭いてから保管してください。

取扱いのポイント

- バネコンを保管するときは、ホースを曲げないで一直線になる様に保管してください。



不調の発見と処置

- 不調が発生しましたら、すぐにその原因を調べて処置をし、故障を大きくしない様にします。
- 原因がわからないときや修理調整しても再発するときは、「お買いあげ先」に相談し点検サービスを受けます。
- そのときは「型式名」「機械番号（製造番号）」「コンロールBOX番号」を合わせてお知らせください。

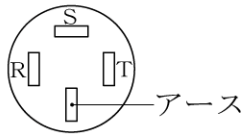


安全のポイント

- ◆ Gコンの点検整備、分解の際は必ずスイッチを [OFF] にし、電源のプラグを抜いてください。

1 電装品

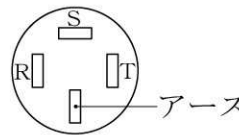
モーターが逆回転する

原因（点検箇所）	処置
①コントロールBOX内のリレーが溶着している。	● コントロールBOXを交換します。 注（リレーの端子を離して、端子を磨く又はリレーを交換）
②モーターの配線が逆になっている。	● 電源プラグ内の配線（R・S・T）3本の内2本を逆に配線します。 
③電源プラグの差込が同時に平行に行われていない。	● 電源プラグを同時に平行に差し込む。
④電源コード内の端子ネジが緩んでいる。	● 電源コード内の端子ネジを締付けます。

モーターが回らない

原因（点検箇所）	処置
①電圧が正規に供給されているか。	● 主電源のブレーカーが遮断していないか電圧（200V）を確認する。
②ヒューズが切れている。	● 定格容量のヒューズに交換します。
③コントロールBOX又はモーターの配線が緩んでいる。	● ネジをきつく締付けます。
④コネクタが正規に装着されていない。	● コネクタを正規に装着します。
⑤コネクタ内部のピンが正規に装着されていない。	● コネクタ内部のピンをプライヤーなどで正規に装着します。
⑥コントロールBOX内リレーの接点が溶けている。	● コントロールBOXを交換します。 注（又はリレーを交換）

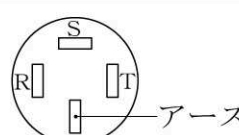
ブレーカーが落ちる

原因（点検箇所）	処 置
①コードが断線してショートしている。	● コードを交換します。
②コントロールBOX内のリレーが溶着している。	● コントロールBOXを交換します。 注（又はリレーを交換）
③電源の配線がアース線につながっている。	● 正規に配線します。 
④コンセント又は電源コードの配線にアース線が接触している。	● アース線を絶縁します。

サーマルが作動する

原因（点検箇所）	処 置
①モーターとコントロールBOXの容量が合っていない。	● コントロールBOXをモーターの容量と同じ容量に交換する。
②バネコン排出側スプリングに糸やワラクズ等が巻き付いている。	● 糸やワラクズ等を取り除きます。
③バネコンが半径2 m以内で曲がり過ぎている。	● バネコンの曲がり2 m以上に緩くします。
④モーターの配線が緩んでいる。	● ネジ類をきつく締付けます。
⑤コネクタが正規に装着されていない。	● コネクタを正規に装着します。
⑥コネクタ内部のピンが正規に装着されていない。	● コネクタ内部のピンをプライヤーなどで正規に装着します。

モーターに回転ムラが発生する

原因（点検箇所）	処 置
①コントロールBOX又はモーターの配線が緩んでいる。	● ネジ類をきつく締付けます。
②コネクタが正規に装着されていない。	● コネクタを正規に装着します。
③コネクタ内部のピンが正規に装着されていない。	● コネクタ内部のピンをプライヤーなどで正規に装着します。
④コンセント又は電源コードの配線がアースに配線されている。	● 正規に配線します。 

空転防止センサが作動しない

原因（点検箇所）	処 置
① 粉センサーのギボシが正規に装着されていない。	● ギボシを正規に装着します。
② 粉センサーが導通しない。	● 粉センサーを交換します。

自動停止センサが作動しない

原因（点検箇所）	処 置
① 粉センサーのギボシが正規に装着されていない。	● ギボシを正規に装着します。
② 自動停止センサーコードがコントロールBOXに正規に装着されていない。	● 自動停止センサーコードを正規に装着します。
③ 粉センサーが導通しない。	● 粉センサーを交換します。

2 バネコン

バネコンから異音がする

原因（点検箇所）	処 置
① バネコン内部のスプリングが曲がった。	● スプリングを交換します。
② バネコン内部のスプリングが折れた。	● スプリングを交換します。
③ バネコン内部のスプリングが外れた。	● スプリングをボルトできつく締め付けます。
④ バネコンのホースが偏摩耗した。	● ホースを180°回転して使用します。 ● スプリングを詰めて使用します。 ● スプリングに食用油を塗布します。 ● ホースを交換します。

バネコンから粉がもれる

原因（点検箇所）	処 置
① バネコンのホースに穴があいた。	● ホースを交換します。 (ホースを角に当てないでください。)
② バネコンのホースが折れた。	● ホースを交換します。 (バネコンは半径2m以内に曲げて使用しないでください。)

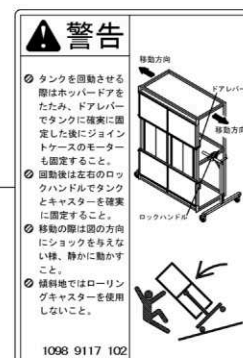
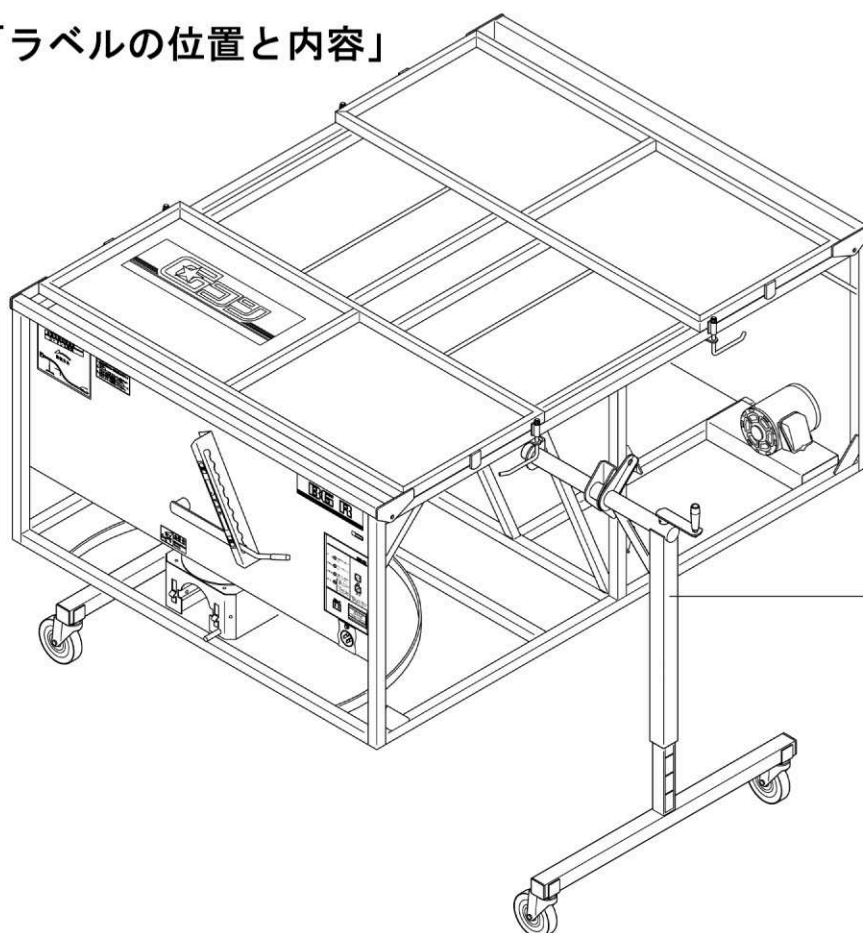
キャスターのご使用まえに



安全作業をするために

- ◆ キャスターの装着はトラックを平坦な場所に置き駐車ブレーキをかけて、エンジン停止して行ってください。
- ◆ 極力キャスターでの移動を控えトラックで保管場所まで移動し収納時のみ使用してください。
- ◆ キャスターは転倒の危険がありますので段差、傾斜地では使用しないでください。
- ◆ 凹凸のある場所での無理な移動は行わないでください。転倒し事故や機械損傷の原因になります。
- ◆ ホッパードアを折りたたみ、ドアハンドルでタンクに固定してください。
- ◆ ジョイントケースはストッパーレバーで固定してください。
- ◆ キャスターはショックを与えない様に、静かに移動してください。
- ◆ 垂直にして収納するときは、ストッパで確実に固定し、柱などにロープで固定してください。
- ◆ 他の機種には、絶対に使用しないでください。

「ラベルの位置と内容」

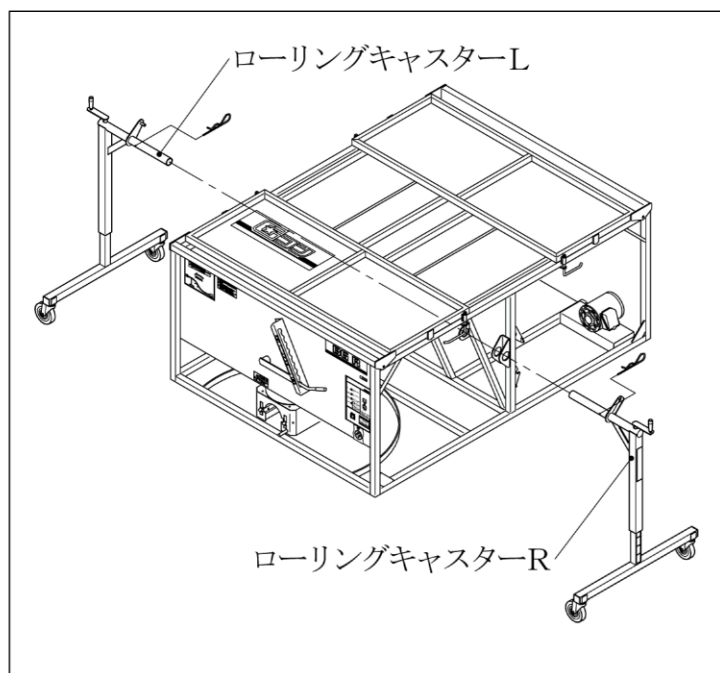


キャスターの取扱い

1 キャスターの組立

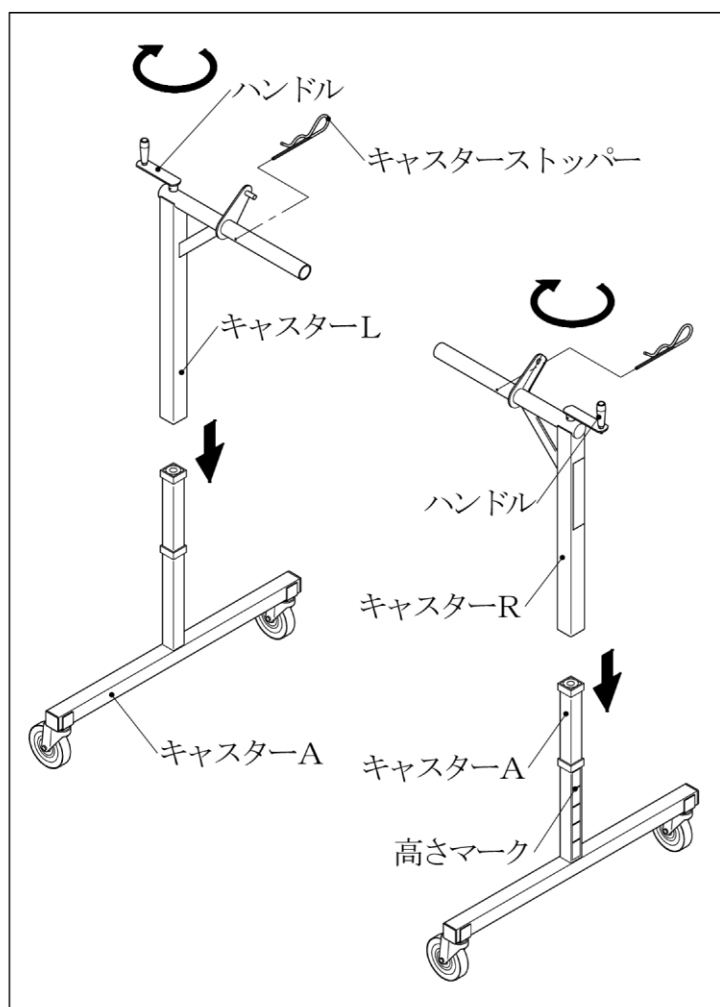
1 セット位置の確認

ローリングキャスターは運転席側にローリングキャスターRを助手席側にローリングキャスターLを取付けてください。



2 ローリングキャスターの組立

キャスターR・LにキャスターAを差し込み、キャスターR・Lの上部のハンドルをマークに合わせて回してはめ込みます。キャスターAは高さマークが外側になる様に組付け、トラックの高さに合わせ調節します。



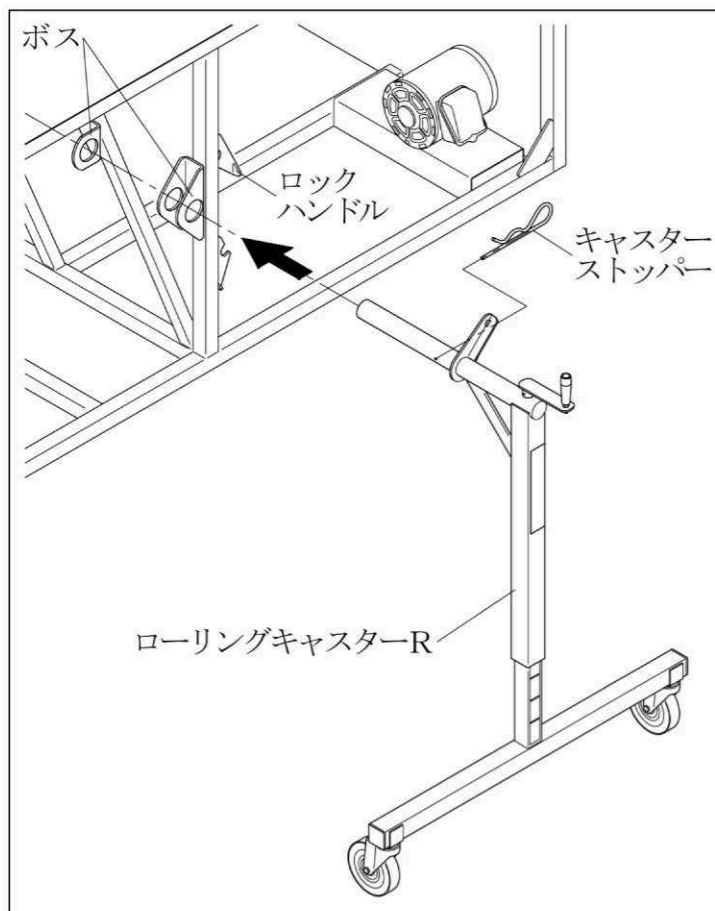
③ ローリングキャスターRの取付

タンクのボスにローリングキャスターRを取付け、キャスターストッパーを差し込み、ロックハンドルで固定します。



安全のポイント

- ◆ キャスターストッパーとロックハンドルとで確実に固定してください。
(19ページ上の図も参照)



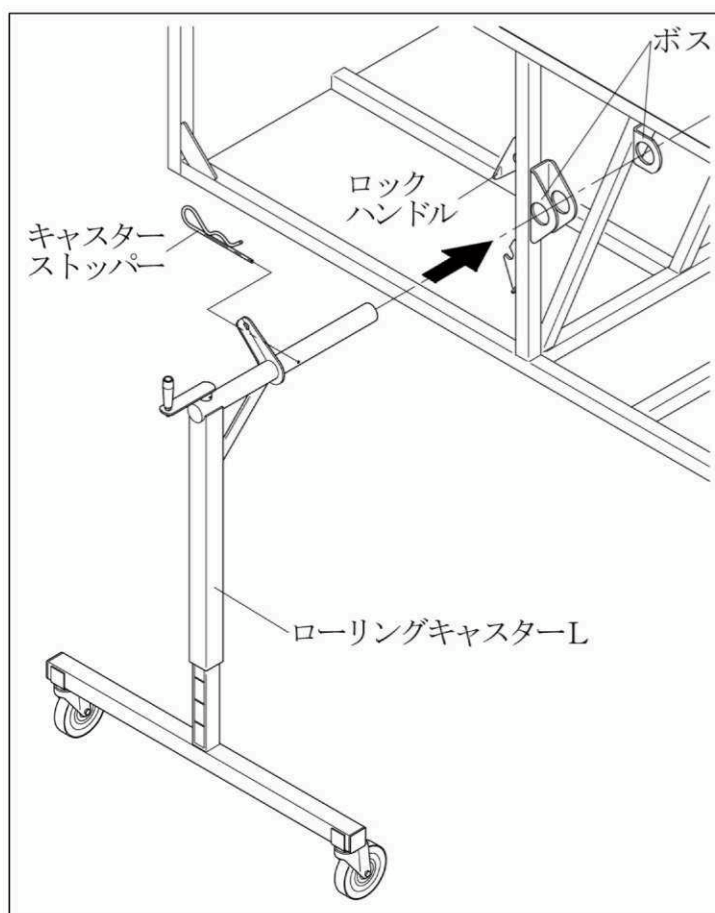
④ ローリングキャスターLの取付

タンクのボスにローリングキャスターLを取付け、キャスターストッパーを差し込み、ロックハンドルで固定します。



安全のポイント

- ◆ キャスターストッパーとロックハンドルとで確実に固定してください。
(19ページ上の図も参照)

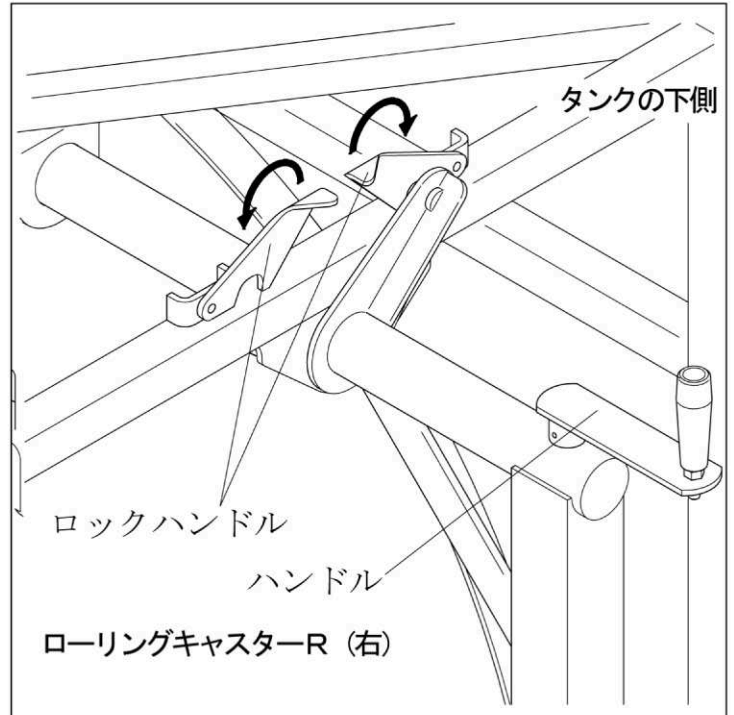


5 タンクの移動

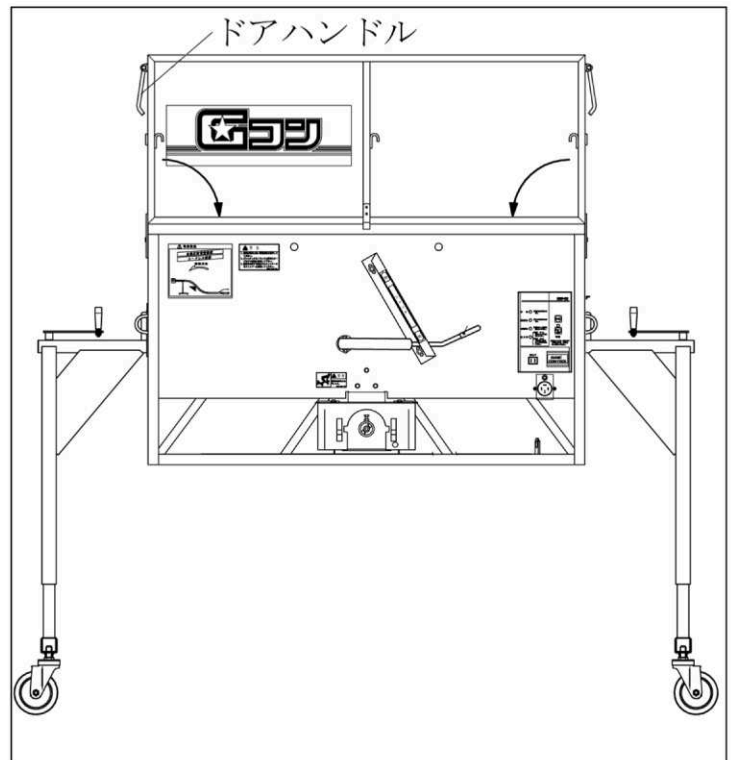
ホッパードアを折りたたんだ後ドアハンドルで固定し、キャスターのハンドルを回して、トラックの荷台より浮かせます。トラックを移動し、その後タンクを移動します。

取扱いのポイント

- トラックで保管場所の近くまで移動し、キャスターでの移動は極力控えて保管してください。
- 凹凸のある場所での無理な移動は行わないでください。転倒し事故や機械の破損の原因になります。
- キャスターはショックを与えない様に、静かに移動してください。



- ◆ホッパードアをドアハンドルで確実に固定しないと回動の際ドアが倒れてケガをすることがあります。

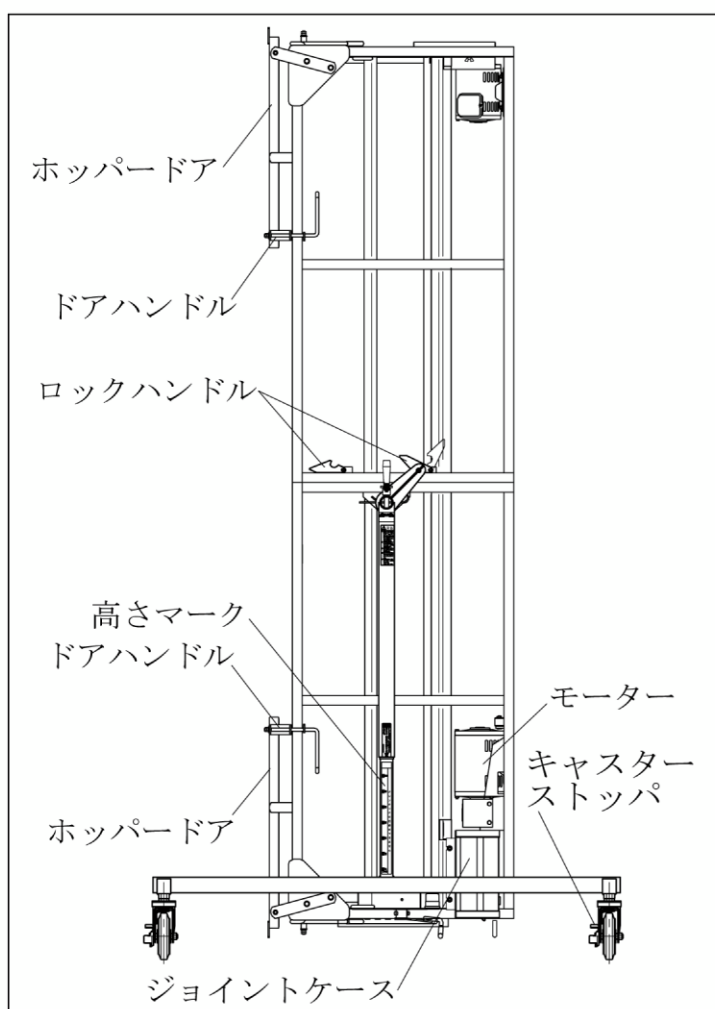
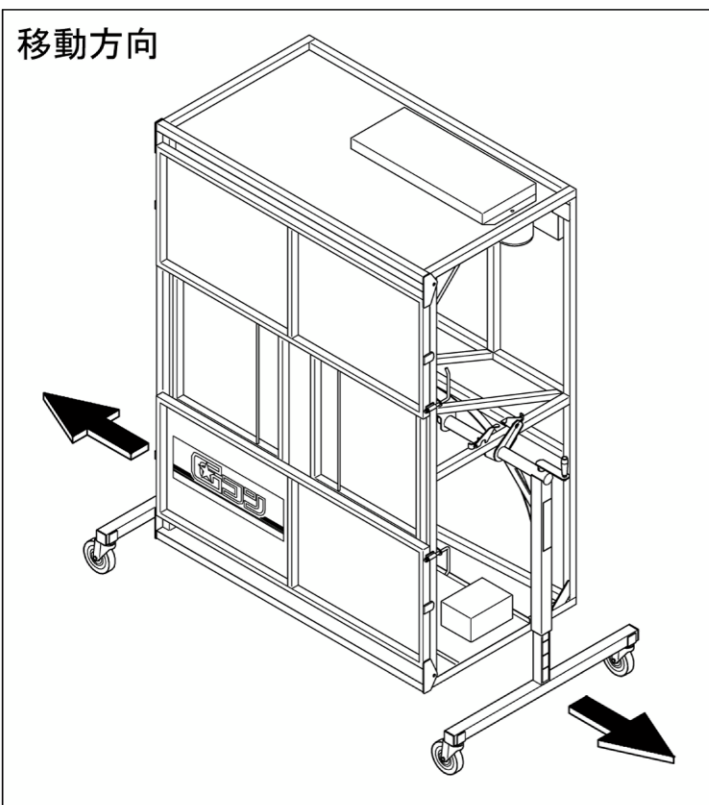


⑥ タンクの保管

タンクを垂直にして保管する場合は、ジョイントケースをレバーでストッパに固定します。

取扱いのポイント

- キャスターは高さを合わせないとタンクが地面に当たり、破損やケガの原因になります。

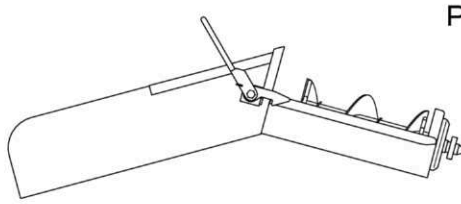
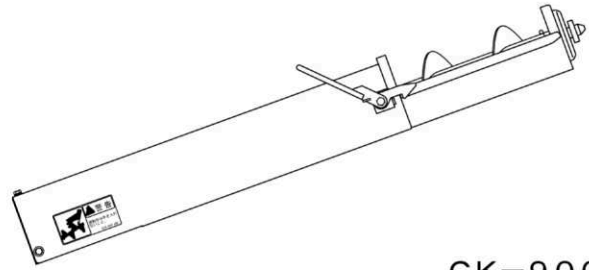
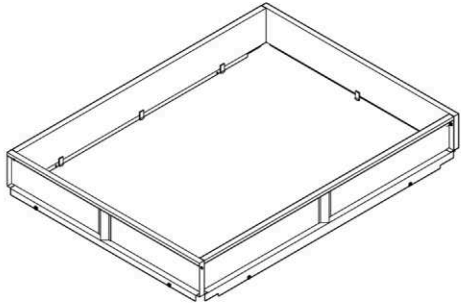


付 表

1 消耗部品

部 品 名 称	部 品 形 式	個 数
V ベルト	L A - 4 9	1 個

2 オプション品

名 称	適 用 機 種	外 観 形 状
ピット用シュータ P S - 3	【B G 型】	 <p style="text-align: right;">P S - 3</p>
ピット用シュータ P S - 2 1	【B L 型】	
ピット用オーガ G K - 9 0 0	【B G 型】	 <p style="text-align: right;">G K - 9 0 0</p>
ピット用オーガ G L - 9 0 0	【B L 型】	
増ワク M T - 1 3	G K 0 9 型 G K 1 1 型	

3 仕様諸元

名 称	G コ ン	
型 式	GK09型	GK11型
全 高 (mm)	1075	1235
全 幅 (mm)	1300	
奥 行 (mm)	1800	
容 量 (ℓ)	1500	1700
袋 数	約30	約38
重 量 (kg)	170	180
排 出 能 力 (t/h)	【BG型】14~18 【BL型】9~12	
モ ー タ ー	3相 200V 0.4kw+1.5kw	

名 称	バ ネ コ ン						
型 式	BG-2	BG-3	BG-4	BG-5	—	BG-7	—
	BL-2K	BL-3K	BL-4K	BL-5K	BL-6K	—	BL-8K
有効長さ (m)	1.7	2.7	3.7	4.7	5.7	6.7	7.7
サクシヨンホース (mm)	【BG型】外径107.5 【BL型】外径98						

名 称	ローリングキャスター
最低～最高 (mm)	558～839
装着時内幅 (mm)	1744 (ワイド 1930)
装着時全幅 (mm)	1860 (ワイド 2046)
キャスター幅 (mm)	900

◆上記に記載の仕様・デザインは予告なく変更する場合があります。

~ Memo ~

お客様へ

ご使用の機械についてわからないことや故障が生じたときは、下記の点を明確にして、お買いあげ先へお問合わせください。

- ご使用機の型式名と機体番号(製造番号)は………？

型 式 _____
機体番号(製造番号) _____

- ご使用状況は………？
- どのくらい使用されましたか？
- トラブルが発生したときの状況を、できるだけ詳しくお教えてください。



どんなに小さなことでも、
お気軽にお問合わせください。

(ご相談窓口) お買いあげ先

T E L ()



製造元

株式会社 **石井製作所**

〒998-0102 山形県酒田市京田4丁目1番地の13

☎ 0234 (28) 8239

FAX 0234 (28) 8256

1211 9150 000

2018年 2月 初版